

丸山健二塾について

当塾は、「文学という最も人間らしい芸術の手つかずの鉱脈が、数千年を経た現在においても、我々の眼前にごっそり眠っているというあまりにも口惜しい状況を打破すると同時に、そこを掘削する術について伝えていきたい」という丸山健二氏の熱い思いから立ち上げられました。

当塾が目指す新しい文学の世界は、作家・丸山健二の文学を踏襲するものではありません。新しい書き手によって、新たな境地を切り拓いていただくことから始まります。たとえ初心者であっても、各個人の技量や個性に合わせた指導により、相当なスキルアップが認められています。

受講生募集中

1、本科生（12か月）

1年間、じっくり学びたい人は本科第7期生へ。
学生優待枠もあります。

2、選科生（6か月）

短期でスキルアップしたい人は6か月コースへ。

塾長：丸山健二（作家）

運営：柏艦舎 丸山健二塾事務局

完本 丸山健二全集

〈全作品 新たに書き下ろし〉全100巻刊行中
全国の書店にて好評発売中!

配本：2017年9月～2027年、毎年3、6、9、12月。

年約10巻、全100巻刊行予定、各巻350～650頁。

各5,500～7,000円(税別)。四六判・上製・函入・箔押し。装丁：文平銀座

※一年分一括購入の割引きもございます。(柏艦舎直販のみ)

丸山健二文学賞

<http://maruyamakenji-juku.jp/bungakusyo.html>

応募作品受付中

文学賞開催宣言 (抜粋)

文学は芸能ではない。従って文学賞がお祭り騒ぎであってはならない。安っぽく、子どもっぽいナルシズムに毒され、それをよとする多くの甘ったれた文学ファンたちによって支えられたものではない、これぞ本物と言える文学への道筋をこのあたりでつけようではないか。

そのきっかけとなり、入り口となる文学賞を設けることにした。既成の文学賞の真逆を行なえばいいと考え、その通りにした。

本物の文学は死んでしまったわけではない。

まだ手つかずの文学の鉱脈が無尽に残されていて、

掘れるものなら掘ってみると挑発しつつけているのだ。

権威の臭いを限界まで抑制した、お祭り騒ぎとはまったく無縁な、かなりハードルの高いこの文学賞に、食べてゆかれないことを百も承知で、

果敢に挑んでもらいたい。

小説家にはあるまじき、かなり柄の悪いもうひとりの私が、

先ほどからさかんにこんな言葉を発している。

「さあ、かかってこいや！」

選考者・丸山健二

【選考者】丸山健二

*選考者である丸山健二氏がすべての作品を読みます。

*受賞作品は柏艦舎より刊行されます。

*詳細につきましてはHPをご覧ください。

募集対象：小説のみ。未発表の作品に限る。

枚数規定：400字詰原稿用紙 300～350枚

応募資格：プロ、アマその他の資格を問いません。

応募締切：2019年12月31日

エントリー費：1作品 5,000円(税込)

応募先：柏艦舎 丸山健二文学賞事務局 (下記)

柏艦舎 (はくろしや) www.hakurosy.com

TEL 011-219-1211 / FAX 011-219-1210

札幌市中央区北2条西3丁目1 タケサトビル6階

丸山健二塾

<http://maruyamakenji-juku.jp/org/>

新たな作家を育て、
新しい文学を作り出す

